令和６年度体力つくり推進計画
＜全体計画＞

東広島市立福富小学校

達成目標

○体力合計点の総合評価ED率を全校平均で３０％以下にする。

実態把握

学　校　の　状　況

・中学校と施設一体型の小中一貫校となって４年目を迎える。
・山間地にある児童９０名の小規模校である。
・バス通学の児童の割合が高い。
・運動場が広く，グラウンドの周辺には登り棒や雲梯，滑り台，ブランコ等の施設がある。

児童の運動・生活習慣の実態

・バス通学の児童の割合が９０％を超えており，運動不足の傾向がある。

新体力テスト，アンケート調査等調査結果との比較から

・男子
全項目で県平均，全国平均値を下回っている。特に，「握力」，「５０m走」，「２０mシャトルラン」に課題がある。
・女子
全項目で県平均，全国平均値を下回っている。特に「長座体前屈」，「５０m走」は大きく下回っている。
・共通昨年度から引き続き「握力」「の記録で県平均・全国平均を下回っている児童が多い。

児童生徒の実態や新体力テスト等から明らかになった課題

① 運動やスポーツをすること好きと答えた児童の割合は８６％と高水準である。一方，運動をする時間が１時間未満の児童割合多い。

② 運動習慣のない児童が多くみられる。

③ ED率４５％（総合評価のD+E/全児童の割合）と基礎体力がついていない児童が半数近くいる。全校（3年～6年）でも42.5%と高い。

以上のことから，体を動かす習慣を身に着けていくことが必要である。

取組事項

（1）休憩時間の外遊びを推奨していく。
・帯タイムの時間に体力向上タイムを設ける。
・環境，体育委員会と連携し，全校遊びを企画していく。
（2）体育科および日々の教育活動における取組
・運動強度の高い準備運動を全校で取り組む。
・ED率４２．５％（総合評価のD+E/全児童の割合）の児童を全職員で共有し，外遊びをしたり，全校体育をしている際には肯定的な声掛けを行ったりする。
・全員が楽しく行える外遊びを環境，体育委員会を中心に進めていく。ランニング，ボール投げなど。
・中学校と連携し，中学校教員による指導を行うことで，より専門的な視点も取り入れて教育活動を行う。
（3）児童会・委員会を中心とした集団遊びの機会の保障
・運動場や体育館で全校児童が楽しむ遊びを考えさせる。
（4）体力向上委員会の充実
・保健・体育委員会の企画を中心に，組織的に児童の体力アップを図ることができるようにしていく。

期待される効果

○主体的に運動に取り組もうとする児童の育成
○運動やスポーツを仲間と協力して楽しもうとする児童の育成
○様々な運動を知ることにより，生涯通しての日々の体力づくりを習慣化できる。
○集団遊びの機会の保障による，外遊びの機会の増加。。

体　制

・ 体力つくり推進委員会（教頭，体育主任・保健主事，生徒指導主事）を設置し，校務分掌部会「生徒指導部」を中心に推進していく。
・ 原則，年３回（５月・７月・１月）の委員会と月１回の生徒指導部会を開催し，検討と改善をしていく。

令和６年度体力つくり推進計画　＜年間指導計画＞

東広島市立福富小学校

達成目標　○個別の課題を克服させていくことで，全種目で県平均・全国平均を上回るようにする。

～３月　４月　５月　６月　７・８月　９月　10 月　11 月　12 月

Plan　Plan　Do　Check　Action　Plan　Do　Check　Action

結果分析，全体計画・年間指導計画立案
計画に基づき実施

新体力テストやアンケート調査等，
実施把握のための調査実施・結果分析

見直しと指導改善計画の立案
計画に基づき実施

評価
見直し・次年度の計画

【体育科・保健体育科】

体つくり運動

なわとびを使ったランニングや基本的な技の習得を目指したウォーミングアップを行う。

陸上運動系・表現運動系

基本的な技を家庭でも練習できるようにする。

水泳系

習得した技を使って，リズム縄跳びにチャレンジしながら，ウォーミングアップを行う。

陸上運動系

器械運動系

ボール運動系

【教科外】

児童会遊び

月１回程度，昼休憩の時間に行う。環境，体育委員会が前日の一斉下校時にみんな遊びの実施を知らせる。

自らの運動課題を発見し，新体力テストに向けて目標をもたせる。

第１回目の体力テストを行う。

【日常生活等】

体力向上タイム

陸上記録会，運動会，水泳記録会，球技交流会などにあわせて，レベルアップタイムで活動を進める。

児童会主体のスポーツ大会を開催する

体力タイム（持久走大会前）
走力アップの運動

【家庭・地域との連携】

家庭でもできるストレッチを紹介し，継続して行うよう促す。

５月参観日後の教育説明会等において，体力つくりの取組について説明する。

７月の個人懇談で，新体力テストの結果を知らせる。夏休みの生活表に体力つくりの項目を設け，長期休業中も続いて取組がされるように働きかけをする。

夏休み休業中と冬休みに縄跳びカードに取り組ませる。